

～英国のNICE診療ガイドラインを読み解く89のセンテンス収載～
『実践「浅田式」標準不妊治療学』出版記念講演会

インタージグループのヘルスケア・コミュニケーション・エージェンシー、株式会社協和企画は、
2月15日に『実践「浅田式」標準不妊治療学』を出版いたしました。
その出版を記念し、出版記念講演会を開催しますのでお知らせいたします。

【発売記念講演会について】

◆[開催日時] 2021年3月20日(土) 14:00～15:10

第一部 「生殖医療の保険適用で少子化は止まるか」(20分)

慶應義塾大学 名誉教授 吉村 恭典 先生

第二部 講演 「生殖医療の進化 ～私をはじめたこと、やめたこと～」(30分)

医療法人浅田レディースクリニック 理事長 浅田義正 先生

第三部 質疑応答 (10分)

◆[視聴方法] オンライン形式 (Zoomを使用したウェビナー) ※参加費無料

申し込み先 <https://ivf0320.peatix.com/>

◆[参加対象] 医師、若手医師、医療従事者、医学生、出版・マスコミなど

【書籍『実践「浅田式」標準不妊治療学』について】

浅田レディースクリニックの臨床データや最新の研究、更に国際的に主流となってきている治療法を紹介した全11章の実用的な生殖医療の実践書です。

①89のセンテンスからNICE guideline 2013を読み解く ②生殖内分泌と卵巣予備軍 ③不妊症とは

④一般不妊治療 ⑤体外受精治療 ⑥AMHの真実 ⑦Freeze Allによる生殖医療の発展

⑧生殖医療現場Ⅰ「調節卵巣刺激」 ⑨生殖医療現場Ⅱ「男性不妊・女性不妊」

⑩生殖医療現場Ⅲ「難治症例」 ⑪生殖医療の進歩と合理的判断

◆A4判、本文184ページ、オールカラー、本体9,000円+税



本リリースに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。
株式会社協和企画 〒170-8630 東京都豊島区東池袋 3-1-3
担当：宮城啓子 mailto:k_miyagi@kk-kyowa.co.jp

【登壇者プロフィール】

吉村 泰典（よしむら やすのり）

慶應義塾大学名誉教授、福島県立医科大学副学長。

日本産科婦人科学会理事長、日本生殖医学会理事長、日本産科婦人科内視鏡学会理事長など、数々の学会の役職を歴任したわが国の不妊治療の第一人者。

第2次～第4次安倍内閣では、少子化対策・子育て支援担当として、内閣官房参与を務める。

浅田 義正（あさだ よしまさ）

医学博士、医療法人浅田レディースクリニック理事長。

1954年愛知県生まれ。名古屋大学医学部卒。同大医学部産婦人科助手などを経て米国で顕微授精の研究に携わり、1995年、名古屋大学医学部附属病院分院にて精巣精子を用いたICSI（卵細胞質内精子注入法）による日本初の妊娠例を報告する。

2004年に浅田レディース勝川クリニック、2010年には浅田レディース名古屋駅前クリニックを開院。

2018年5月には東京・品川に3つ目のクリニックとなる浅田レディース品川クリニックを開院。

日本生殖医学会認定 生殖医療専門医。日本産科婦人科学会 産婦人科指導医。